

過去20年間の大学生の健診受診率の推移

齊藤 郁夫*

保健管理センターの業務の一領域として学生の健康診断(健診)がある。今回は1988年から2007年までの健診受診率の推移について検討した。

対象と方法

1992年に発刊された慶應保健1991¹⁾、1995年に発刊された慶應義塾大学保健管理センター年報1992～1994²⁾およびそれ以後の慶應義塾大学保健管理センター年報から、1988年から2007年までの大学1～6年生の全体および大学1年生のみの健診受診率の推移について検討した。さらに、学生数8000人以上の18国立大学の2005年の健診受診率を「学生の健康白書2005」³⁾からまとめた。

成 績

慶應義塾大学全体の1988年から1994年までは70～75%の健診受診率であったが、1995年以後60%台に低下した。2005年以後80%台に上昇し、その後も微増傾向にあった(図1)。

大学1年生についてみると1988年の成績は不明であるが、1995年までは90%以上の健診受診率であった。1996年以後80%台に低下し、2000年以後70%台となっていたが、2005年以後は90%台に上昇した(図2)。8000人以上の学生数の18国立大学の2005年の健診受診率を「学生の健康白書2005」からまとめると図3のように

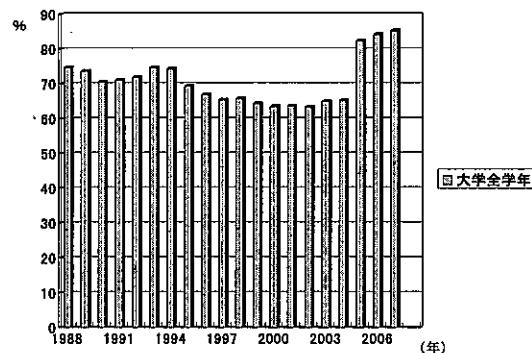


図1 大学全学年の健診受診率の推移

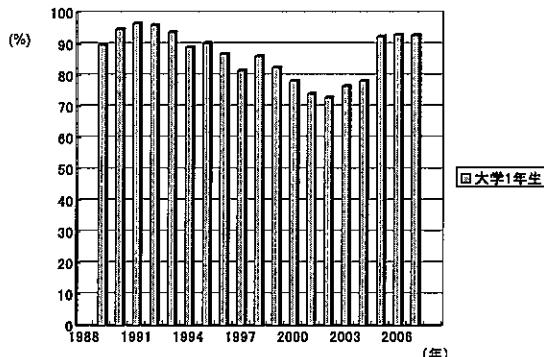


図2 大学1年生の健診受診率の推移

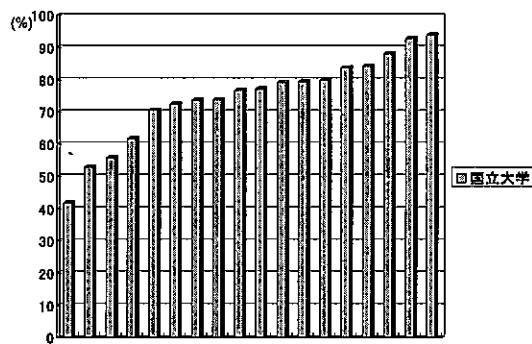


図3 学生数8000人以上の国立大学の2005年の健診受診率

* 慶應義塾大学保健管理センター

過去20年間の大学生の健診受診率の推移

41.8%から93.9%に分布しており、平均は74.4%であった。

考 察

1988年から1994年

1991年に大学審議会は「大学教育の改善について」を答申し、さらに「大学設置基準等及び学位規則の改正について」を答申し、それに基づき大学設置基準が改正されて、一般教育・専門教育・体育その他の科目区分、区分ごとの履修義務・教員組織の基準が撤廃された（いわゆる大綱化）。慶應義塾大学においても、設置されて間もなかった湘南藤沢キャンパスの環境情報学部・総合政策学部を除いて、体育が必修ではなくなった。体育履修には健診受診が必須であったため、体育が必修でなくなったことと連動して、健診受診も必須でないと誤解され、1993年ごろから健診受診率が漸減していったと思われる。

1995年から2004年

健診受診率が低いことについての全塾的な危機意識は高くなく、1999年には健診の会場が学生の通学経路の途中にある保健管理センターの2階から、通学経路から離れた日吉記念館に移った。また、メディアセンターのホストコンピュータの廃止に伴う情報管理システムの変更に伴い、学割発行時に健診受診が必須の条件でなくなったこともあり、健診受診率はさらに低下し、大学1年生の健診受診率も70%台となつた。健診受診率についての大学全体の意識を改革することを目指して、2003年から毎年6月の大学評議会（塾長、常任理事、学部長などの学部代表、研究所所長、大学院研究科長などが出場）において、健診受診率を報告することとなつた。2004年の早春に健診未受診者から結核の集団感染が起り、健診受診率が低いことについて、全塾の危機意識が急速に高まった。

2005年から2008年

2005年には全塾の支持を得て、健診受診の呼びかけの強化、校内放送を利用した健診受診の呼びかけ、昼休み時間帯も健診受診を可能にすること、学割発行時に健診受診を必須条件にするなどの新たな対策を行つた。その結果、健診受診率は約20%上昇した。さらなる上昇を目指すためには、大学生の受診行動の詳細な調査とそれに対するきめ細かな対応が必要であろう⁴⁾。

国立大学の健診受診率

国立大学全体の健診受診率は1995年には60.7%，2005年には76.3%と上昇していた。学生数8000人以上の18大学のみでも、2005年には74.4%であった。

総 括

1. 1988年から2008年までの健診受診率の推移について検討した。
2. 1988年から1994年までは大学全学年で70～75%，大学1年生で90%の健診受診率であったが、大学設置基準の大綱化の影響のためか1993年ごろから低下した。
3. 健診未受診者に由来した結核の集団感染以後、2005年からは健診受診率が80%台に上昇し、その後も微増傾向にあった。
4. 2005年の学生数8000人以上の規模の18国立大学の健診受診率は平均74.4%であった。

文 献

- 1) 慶應義塾大学保健管理センター：業績ならびに20周年記念関連記事、慶應保健：10: 65-78, 1992
- 2) 慶應義塾大学保健管理センター：保健管理センター業績、慶應義塾大学保健管理センター年報1992～1994, 1995～2007
- 3) 学生の健康白書に関する特別委員会：学生の健康白書2005、国立大学保健管理施設協議会, p 10-16, 2008
- 4) 齋藤郁夫, 他：日吉と三田の学生の定期健診受診行動—2004年, 2005年, 2006年の比較—、慶應保健研究 25: 1-3, 2007